

2025/04/03-04/07

今回アルバカーキーにおいて心理人類学会に参加し、さまざまな発表を拝聴することができ、非常に有意義であった。特に Children's Interactions with Peers and Others in Learning Environment に参加し、それぞれのフィールドにおいて子供たちの学びの形態について議論した。Camilla Morelli (University of Bristol) の発表では、Matses の子供たちの認識するアマゾンの ecology について、子供たちが描く絵を利用して調査している点が非常に興味深かった。今後の本プロジェクトにおいて現地の子供達に絵を描いてもらい、それを利用すると言った流れの可能性について議論した。

また Eruptions of Liveliness: Native American Health in the 21st Century についてのパネルでは、Cherokee や Navajo の伝統的な health management に関する発表がとても興味深かった。自らも Nurse として長年 Navajo の patient care に携わってきた Jennie R Joe (University of Arizona)の発表では、西洋医療とともに伝統的な医療を行うことで、Patient-Centered care を実現させてきた経緯や課題などが明らかとなり、非常に興味深かった。Native American としての Resilience を高めるためにも Health の問題は重要であり、Culturally appropriate care を行う上で配慮すべき点についての議論が活発に行われていた。



Pic 1 : SPA2025 会場 随所に Native American の作品が飾られている